

## ANA は副操縦士昇格訓練に新たに MPL 訓練を導入します

ANA は、今後の副操縦士の養成に Multi-crew Pilot License (以下 MPL) を取得する訓練を導入し、その基礎訓練を Lufthansa Flight Training GmbH (以下 LFT 社)<sup>(※1)</sup> に委託し、2014 年夏より開始いたします。<sup>(※2)</sup>

MPL はエアラインの二人乗り航空機の操縦士に特化した新しいライセンスであり、2006 年に ICAO (国際民間航空機関) で規定され、日本においても 2011 年に法制化、翌 2012 年から施行されました<sup>(※3)</sup>。ANA では 2009 年より MPL 訓練の導入を検討してまいりましたが、実運航を想定した高品質な訓練に加え、基礎訓練から実用機訓練まで一貫して効果的な訓練が可能になると判断し、このたび導入を決定しました。

訓練を委託する LFT 社は、ANA のジョイントベンチャーのパートナーであるルフトハンザドイツ航空の訓練を担うグループ会社であり、エアラインの運航ノウハウを積極的に訓練に取り入れることにより、世界の訓練会社の中でも最先端かつ最高品質の訓練を提供しています。また、LFT 社は MPL 訓練を修了した副操縦士を 400 名以上輩出するなど、MPL 訓練に関して世界でも最大規模の実績を有しています。この LFT 社と ANA は互いの訓練ノウハウを出し合い、1 年以上にわたる共同開発を経て、ANA の MPL 訓練プログラムを作り上げました。

今回 ANA が導入する MPL 訓練プログラムでは、エアラインの操縦士に求められる高品質な航空機の操縦操作能力の習得に加え、運航をチーム力で支える能力やスレット & エラーマネジメント等のエアラインの運航に必要な業務遂行力も集中的に修得するため、訓練品質を大きく向上させると同時に、効果的な副操縦士養成が可能となります。また、訓練効率を向上させることにより、従来方式と比べて大幅に訓練期間を短縮することが可能となります。

ANA では、今後も効率的で高品質な運航乗務員の養成を行うことにより、より安全・安心で快適な空の旅をお客様に提供できるよう、努力してまいります。

以上

(※1)LFT 社について

ドイツにあるルフトハンザドイツ航空の 100%子会社。ルフトハンザドイツ航空グループを始め、世界の 200 以上の航空会社から、運航乗務員のトレーニング、緊急訓練、客室乗務員のサービストレーニングなどの様々な訓練を受託する、豊富な経験と高い技術力を誇る訓練専門会社。39 機のフライトシュミレーターを始め、ヨーロッパでも最大規模の施設を有する。

(※2)開始時期について

この計画は関係当局の許可を前提としております。

(※3)MPL について

MPL 訓練の詳細については、別紙をご参照ください。